



さいたま市



自治会活動に役立つ

ICT活用講座



こんにちは。



本日は、「自治会活動に役立つICT活用講座」にご参加いただき、ありがとうございます。

また、自治会の皆様には、日頃から安全な住みよいまちづくりのため、自治会活動に大変な御尽力をいただき、心から御礼申し上げます。

早速本題に入らせていただきますが、この講座では、ICTを活用することで、自治会活動の負担を軽くできる！ということをお伝えしたいと思います。



## 本日の内容

1. なぜ、自治会活動にICTが必要なのか
2. ICTを活用すると何ができるか
3. 市の自治会活動ICT化に関する今後の支援



## 本日の内容

1. **なぜ、自治会活動にICTが必要なのか**
2. ICTを活用すると何ができるか
3. 市の自治会活動ICT化に関する今後の支援



# Information and Communication Technology

(情報通信技術)

- コンピュータや通信技術を活用したコミュニケーションを重視した表現
- デジタル化された情報をやりとりする技術
- ICT技術はあらゆる分野で活用されている  
(オンライン会議、オンライン診療、ICT教育 など)



# 多くの自治会が抱える悩み

## コロナ禍で**集まらない**

- 意見交換や情報共有が困難に！  
感染を懸念して回覧板を避けたいという声も…



## 自治会活動に参加する**時間がない**

- 若い世帯は、仕事や子育てに忙しく、自治会活動に参加する時間がとれないことが多い。
- 定年延長により、年配の方も時間確保が困難になる可能性も…

## 自治会の事務**に時間がかかる**

- 予算管理や会議資料作成の他、各種補助金の申請にはたくさんの書類が求められ、事務に時間がかかる！





# I C T 活用で悩みを解消

コロナ禍で集まらない



オンライン会議



自治会活動に参加する時間がない



S N S での情報共有・発信

自治会の事務にかかる時間がかかる



WordやExcel、メールの活用



## 本日の内容

1. なぜ、自治会活動にICTが必要なのか
2. ICTを活用すると何ができるか
3. 市の自治会活動ICT化に関する今後の支援





# オンライン会議

何が  
できる？

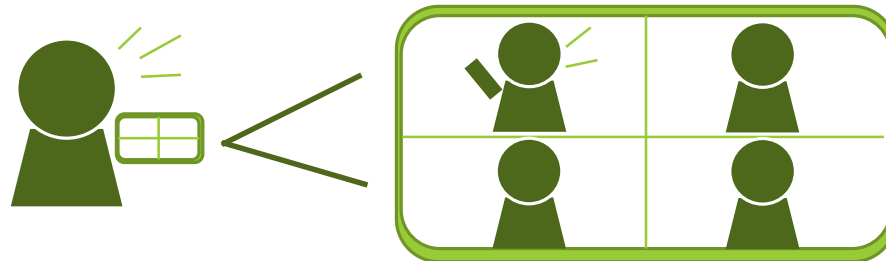
一堂に会した時と同じように、相手の顔を見ながら会議や打合せができる。

方 法

Zoom（ズーム）などのオンライン会議用アプリをダウンロードして使用。

効 果

- ・ 場所に縛られないため、**集合場所に行く時間などを短縮**できる。
- ・ **スマートフォンがあれば誰でも**できる。





# SNSでの情報共有・発信

何が  
できる？

- ・ 会員同士で**気軽に情報共有**ができる。
- ・ **不特定多数に向けて、イベント等の情報発信**ができる。

方 法

- ・ 情報共有には**LINE（ライン）**等のメッセージアプリを使用。
- ・ 情報発信には、**Facebook（フェイスブック）**や**Instagram（インスタグラム）**等が活用できる。

効 果

- ・ 複数人でメッセージのやりとりができるため、**効率的な情報共有**ができる。
- ・ SNSによる情報発信で**若い世代が自治会活動に参加しやすくなる**。
- ・ SNSは**使用するのに費用がかからない場合が多く、ホームページに比べ費用が抑えられる**。

〇〇自治会

A会長

明日16時から  
自治会館で役員会を行います

B副会長

了解

C副会長

了解しました。

会計 スウ

仕事があるので1時間  
ほど遅刻します。





# WordやExcel、メール等の活用

何が  
できる？

各種申請手続きをパソコン上で完結することができる。

方 法

- ・ **Word(ワード)**や**Excel(エクセル)**などのビジネスツールを使用して、会議資料等を作成。
- ・ 市の各種申請等について、**メール**を使用。

効 果

- ・ **区役所に出向く手間が省ける。**
- ・ 修正が必要となった場合も、手書きに比べて**事務負担が軽減**できる。

※現在、自治会向け各種補助金の申請等において、メール申請が可能であるものが限られているため、詳しくは各区コミュニティ課にご確認ください。



# ICT活用で持続可能な自治会活動に！

コロナ禍で集まらない



オンライン会議



自治会活動に参加する時間がない



SNSでの情報共有・発信

自治会の事務にかかる時間がかかる



WordやExcel、メールの活用



## 本日の内容

1. なぜ、自治会活動にICTが必要なのか
2. ICTを活用すると何ができるか
3. **市の自治会活動ICT化に関する今後の支援**



# 今後の支援内容（予定）

オンライン会議開催方法に関する講座の実施

## 各種講座

行政が無償で実施するスマートフォン使い方講座の紹介

## モデル事業

自治会電子回覧板モデル事業の実施

## その他

ICT化が進んでいる自治会の紹介

予算書・決算書のエクセルデータ等の提供

データは、市ホームページに掲載されています。  
「さいたま市自治会連合会について」で検索してください。

ページ下部に様式があります。





# さいたま市のDX推進に係る取組

## DX推進により目指すべき姿

### 目指すべきDXの姿

- 行政サービスを受けるために必要な市への**手続等**によって発生する**市民の負担**（時間、移動及び情報取得のコスト、その他の制約条件）を**可能な限り減らす**。
- **行政サービス**をはじめ、**地域社会全体のデジタル化を推進**していくことにより、市民一人一人の生活環境を、日々豊かで自由なものにしていく。
- データの活用やデジタルツール導入によって、**効率的かつ確で、かつ職員満足度も高い持続可能な行政を実現する**。
- 時代の変化や新たな危機にも迅速に対応しうる**柔軟かつ堅牢なデジタル基盤及び体制**を構築する。

### <さいたまデジタル八策>





# 地域活動のデジタル化に係る総務省の取組

## 第2回 研究会 「地域活動のデジタル化」 (R3. 8. 30)

○総務省が、全市区町村のコミュニティ担当部局に対して令和3年7月に実施したアンケート調査に基づき、地域活動におけるデジタル化の状況について分析するとともに、優良事例の取組について議論。

### 第2回概要

○市町村が把握している自治会のデジタル化の状況について分析

- ・自治会活動のデジタル化の事例として、電子メール、ホームページ、汎用的なアプリが活用されていると回答した市区町村は、それぞれ約1割程度あるが、自治会向け専用アプリやWEB会議システムを挙げた市区町村は少ない。
- ・自治会のデジタル化を進める上で市区町村が有効と考える分野としては、災害時における安否確認、電子回覧板による情報伝達の速達性の確立、地域活動の見える化・情報発信などとなっているが、他方で、総会の委任状の集計の簡素化や自治会費等の電子決済については、有効と考える市区町村は比較的少ない。

○市区町村の自治会に対するデジタル化支援の内容について分析

- ・約200市区町村が自治会のデジタル化に係る取組について既に支援を実施しているが、多くの市区町村では、「支援の実績がない」又は「デジタル化の支援をする予定がない」と回答。

○自治会のデジタル化に取り組んでいる4市から事例を発表。

- 〔金沢市（石川県）、島田市（静岡県）、  
岡山市（岡山県）、佐世保市（長崎県）〕

3. 地域ICTプラットフォームの構築

金沢市町会連合会アプリの運用 (R3.8.18~)

金沢市町会連合会、金沢市と各校下(地区)町会連合会  
つなぐ情報伝達ツールとして「総プラットフォーム」を運用

【取組先】  
各町会連合会の会長、事務局、サポート員

【取組内容】  
・会議の開催案内、出欠確認(役員会、理事会等)  
・各種お知らせ、資料提出依頼(緊急事態宣言下の活動等)  
・地域コミュニティ関連の通知情報(補助制度の案内等)  
・防災情報(避難所設備情報、災害情報等)  
・市からの住民情報データ など

導入成功の鍵

「自治会にとって本当に必要なものが何か」を対話  
「課題を解決し、効果的に活用できる」ことを目指して実施

金沢市（石川県）

島田市（静岡県）





# 他市の自治会活動におけるICT活用例

## 02: 住民に身近なデジタル【宮城県丸森町(ちいき本棚)・北海道札幌市(自治会・町内会支援)】

(「地域社会のデジタル化に係る参考事例集」令和3年12月28日付け事務連絡(総務省自治行政局地域情報化企画室) 一部加工)



➤ 町の広報紙等をWEB上で誰でも、いつでも見ることのできる環境

### 概要(宮城県丸森町)

- 丸森町では、町の広報紙「広報まるもり」等を電子書籍化した上で、ちいき本棚(電子閲覧板)を用いて広く公に提供している。
- 広報紙等を電子書籍化することで、印刷部数の制約がなくなり、多くの人に町に関する情報を届けることができるとともに、域外にいる町に関心のある人々(関係人口等)にも、情報をタイムラグなく届けることができる。
- また、自治体が電子書籍化した広報物等をちいき本棚に搭載することで、利用者はアプリにより広報物等を端末から自由に閲覧することができ、整理された情報から選択したり、過去の情報にもアクセスできる。



【参考情報】人口:1.3万人 関連URL:  
<http://www.town.marumori.miyagi.jp/soumuka/johokoho/koho/kairan.html> (町HP)



➤ 自治会・町内会のデジタル化を支援する取組

### 概要(北海道札幌市)

- 札幌市では、自治会・町内会等の活動の促進や、コロナ禍における住民の閲覧板(紙媒体)に関する不安の声などに応えるため、令和3年度は自治会・町内会等向けに「リモート会議実施研修会」や「電子閲覧板導入モデル事業」を実施している。
- リモート会議の研修会については、町内会会長やまちづくりセンター所長等を対象とし、20名定員で20回(各区平均2回)を予定している。初歩的などころから始めて、まずはツールを体験し、利便性を実感してもらうことを目的としている。
- 電子閲覧板については、市がコンサル事業者と共に先行事例の調査を行い、モデル町内会として選定した10の町内会に対していくつかの方法を提示。その上で町内会が選択した方法による閲覧の導入・運用支援を実施している。



【参考情報】人口:196.2万人  
 関連URL: -

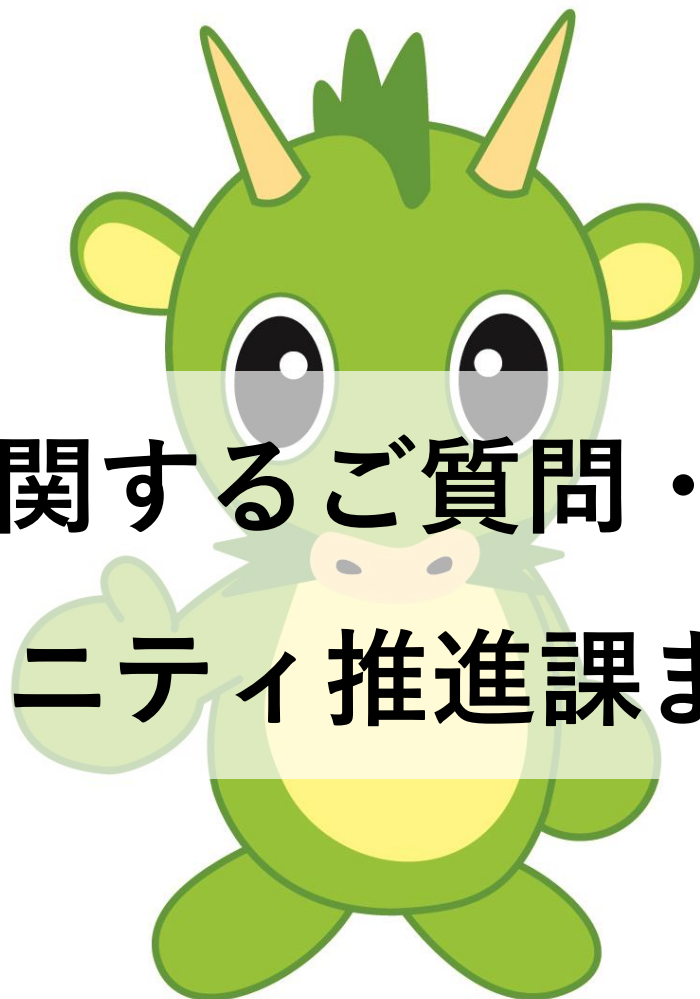
### 02: 住民生活【その他の主な取組】

- 自治会ICT化応援(沖縄県豊見城市) 自治会長会のオンライン対応(Web会議等)が可能となるよう各自治会のインターネット環境及び情報機器等の整備を支援



## まとめ

- ICT化が進んでも、**対面による自治会活動が大切**という考えは変わらない。
- コロナ禍などの社会情勢への対応や、若い世代に自治会活動を引き継いでいくなど、**持続可能な自治会運営のために、ICTは重要なツール。**
- できることから始め、徐々にICTを使いこなしていくことで、**自治会の負担を軽減し、より活発な自治会活動が期待できる。**



**この講座に関するご質問・ご相談は、  
コミュニティ推進課まで！**